

事務事業名	地区河川維持管理活動支援事業		所属部局	建設部		単位番号	7028												
			所属課室	道路整備課		課長名	入倉隆士												
	☐ 実施計画事業		所属担当	維持担当		担当者名	時田一直												
基本政策	基本計画体系	うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目									
政 策	12	治水対策の河川等の整備	事業区分	01	一般	0	8	0	3	0	1	0	2	0	0	3			
施策	19	河川・水路の整備		☐ 国の制度による義務的事業	☒ 施設等維持管理事業														
				☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業														
				☐ 市の制度による義務的事業	☐ その他の事業														
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 年度)		法令根拠																
	☐ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)																		
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 環境整備、保全のため、地域ぐるみで1・2級その他水路を含む河川清掃をする自治会に対し、活動支援として費用の一部を補助する。110区のうち37地区、河川清掃として、泥草刈、ダンプを使つての清掃を行っている。交付金基準は様々。費用の何%という基準はない。あえていうと、人件費×日数×金額(清掃量によってわかる)+ダンプなどの費用。最低1万8千円。業務としては、交付事務を行っている。			事業費の主な内訳 (22年度)															
				項目(細節)				金額(千円)				項目(細節)				金額(千円)			
				補助金				2,018											
												計				2,018			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	河川清掃を実施する37地区に対し、作業実績により補助金交付
23年度活動予定	河川清掃を実施する37地区に対し、作業実績により補助金交付
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
・市民	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
・地域の河川は、地元できれいにする ・河川を愛護する気持ちをつくる	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
・河川の環境美化の保全	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 河川清掃実施地区数	数
イ 河川清掃参加人数	人
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 河川清掃参加人数/人口	%
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 河川環境の住民の満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	2,233	2,017	2,018	1,550	1,550	1,550	
	事業費計 (A)		千円	2,233	2,017	2,018	1,550	1,550	1,550	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	30	30	30	30	30	30	
		人件費計 (B)	千円	134	134	119	119	119	119	0
		(A) + (B)		千円	2,367	2,151	2,137	1,669	1,669	1,669
	活動指標	アイウ	数	37.0	37.0	37.0	37.0	37.0	37.0	
アイウ		人	8,500.0	8,900.0	8,900.0	8,900.0	8,900.0	8,900.0		
対象指標	アイウ	人	72,669.0	72,669.0	72,833.0	72,900.0	73,000.0	73,100.0		
	アイウ	%	11.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0		
成果指標	アイウ	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	アイ	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	環境整備、保全のため、地域ぐるみで河川清掃をする。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	この補助金制度見直し。みんなまちで区の見直しを行っているのでその中で、行う。 補助金制度をなくす。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	補助金の見直し

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている 【内容！】 ☐ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	補助制度の見直し
H 22年度に実施した改革改善の内容	補助制度の見直し

事務事業名	地区河川維持管理活動支援事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 地域の河川は、地元できれいにする。河川を愛護する気持ちをつくる。河川の環境美化の保全	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☒ 見直し余地がある 【理由↓】 ☐ 妥当である 【理由↓】 地域住民がボランティアの意識を持つことが大事	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☒ 見直し余地がある 【理由↓】 ☐ 適切である 【理由↓】 地域住民がボランティアの意識を持つことが大事	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある 【理由↓】 ☐ 向上余地がない 【理由↓】 地域住民がボランティアの意識を持つことが大事	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☒ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☐ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☐ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 区に説明した場合の反響	☒ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない 【理由↓】 区に説明した場合の反響
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 削減余地がない 【理由↓】 地域住民がボランティアの意識を持つことが大事	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 削減余地がない 【理由↓】 区への交付金として進めている。(みんなで街づくり推進課)	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☒ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 公平・公正である 【理由↓】 補助の基準がないため見直す必要がある。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	この補助金制度見直し。みんなちで区の見直しを行っているのでその中で、行う。 補助金制度をなくす。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☒ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☒</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☒	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☒	☐	☐																		
	維持	☐	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td><td></td></tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td><td></td></tr> </table>	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果																						